

『ゆっくり…ゆっくり…できた！』

育っている姿（挑戦する意欲・達成感）



毎日のおやつの時間や水分補給の時、子ども達は自分で水筒のコップにお茶を入れています。力加減が難しく、こぼしてしまったり、勢いよく傾け、上手くコップに入らなかったりしながらも、毎日自分で入れられるように頑張っています。ある日、Aちゃんは水筒が傾けにくく困っていると保育者が「ゆっくりね。」と声を掛けながら一緒にお茶を注ぎました。Aちゃんは真剣な表情で、ゆっくりとお茶を入れていました。それを見ていたBちゃんは、自分で水筒を持ち、Aちゃんと保育者の方を見ながら「ゆっくり…」の声に合わせて一緒にお茶を注ぎ、「自分でできた！」と嬉しそうに笑いながら、友達や保育者に教えてくれました。注いでいる間、周りの友達が「頑張れ！」と応援してくれ、注ぎ終わると「すごーい！」とみんなで拍手合っていました。

保育者の言葉を聞いたり、友達の様子を見たりしながら力加減や傾きなどを調節し、自分で挑戦しようとする姿が見られました。また、友達の励ましやできた時には一緒に喜んでくれる関係が築けていることで『もっとやりたい！』と、繰り返しの意欲にも繋がっているのだと感じます。毎日継続していることの中に、子ども達が繰り返し挑戦している姿や達成感を味わいながら成長している姿が見られました。これからも「自分でできる、できた」という経験を重ねて、自信に繋がるように継続していきたいと思えます。